



# おおぶ旬ナビ



この時期ならではの歴史や文化を紐解いて!

古くから続く祭りや七福神像御開帳など、冬から春にかけても大府はイベント目白押し。ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止配慮のため中止や内容変更も。そこで、こんな時だからこそ歴史や伝統をじっくり御紹介します。



※例年の祭りの様子

## 500年以上も続く天下の奇祭

### 長草天神社どぶろくまつり 毎年2月25日に一番近い前の日曜日に開催

地元の人々によって仕込まれたどぶろく酒が振舞われ、赤ら顔の猩猩(しょうじょう)が練り歩く天下の奇祭「どぶろくまつり」。投げ餅も行われ、毎年多くの参拝者でにぎわうこの祭りは、なんと室町時代から500年以上も続く伝統行事。大府市無形民俗文化財にも指定されています。

元々は、周辺の田んぼで収穫されたお米で酒を造り、神様にお供えしていたものを、氏子が参拝者に振舞ったのが祭りの始まり。御神酒(おみき)であるどぶろくを飲むことで、無病息災や福をもたらします。

祭り当日は、午前中の神事後、正午頃からどぶろくの振舞いが。このどぶろく造りは、地元・長草自治区の6組(西山、前屋敷、向江、平手、五ツ屋、本郷)が輪番で担当。酒造りの伝統が脈々と受け継がれているのです。

今年度は、神事のみ開催。一般の見学はできません。どぶろく酒の振舞い・投げ餅も行いません。



※例年の祭りの様子



※例年の祭りの様子

### 酒好きの猩猩も練り歩く!

大きな体に赤い顔で祭りに登場する猩猩は、福と徳を授ける想像上の動物。組に1体ずつ、計6体が神社内を歩き回ります。酒好きの猩猩はバリと呼ばれる先の分かれた竹の棒を持っていて、この棒で頭をたたいてもらって頭がよくなるのだとか。子どもたちをめた切りにする「猩猩めた」も行われます。

### 2022年2月の研究大会にも注目

### 健康都市おおぶ どぶろく(DOBUROKU)特区

2019年3月に「どぶろく特区」に認定された大府市。これにより小規模でも農業者がどぶろくを作れるようになりました。その実施主体が、自然と食を愛するカフェ「はたけぞく」を営むスリーシーズン合同会社。自家栽培の米・イセヒカリを使って「食べるどぶろく」を醸造。米粒が残ったままのオリジナリティあふれるお酒ができました。さらに、大府市が次回・第15回全国どぶろく研究大会の開催地に決定。大府のどぶろくが今、盛り上がっています! **2022年2月に延期されました**



## 開運祈願に梅や桜。春の足音に心ウキウキ!



お寺巡りで開運祈願!

### 大府七福神めぐり

2021年1月31日(日)

場所: 市内各寺院 (浄通院・光善寺・賢聖院・普門寺・地蔵院・大日寺・地蔵寺)

市内7ヶ所の寺院に祭られている七福神像の御開帳が行われます。寺院を巡り、福を呼び込みましょう。愛三工業レーシングチームがバックアップする「サイクリングイベント」も楽しい!

今年度は、御朱印帳への押印・記帳、色紙販売は行いません。  
※記念シールの配布は予定しています。



春を感じる、見事な盆梅

### 第30回大府盆梅展

2021年2月7日(日)~14日(日)

場所: 大倉公園

美しく可憐な花に、芸術的な枝ぶり。大府に春の香りを運んでくる盆梅展も今年で30回目。長い年月、丹精込めて育てられた約70点の盆梅がズラリと展示されます。

※新型コロナウイルス感染症対策の為、マスク着用、手指消毒等を実施します。ご協力の程、よろしくお願いたします。  
※御来場の皆様は、上履を御持参ください。



多様な桜スポットをお見逃しなく!

### おおぶのさくらまつり

2021年2月下旬~4月上旬

場所: 桃山公園・ニツ池公園・石ヶ瀬川

濃いピンクが華やかな河津桜は2月下旬からニツ池公園で。ソメイヨシノなら3月下旬から石ヶ瀬川堤防ライトアップや、花見客で賑わう桃山公園で見頃を迎えます。

※石ヶ瀬川では3月20日~4月11日にライトアップイベント「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」を開催予定です。